

～視覚障害のある方との コミュニケーションについて～

令和元年10月10日（木）民間講師招聘事業において、長崎県音訳の会の林絹子先生に視覚障害のある方とのコミュニケーションについて講話をしていただきました。



視覚障害者の方は目が見えないために情報が少なくなったり、慣れない場所で移動することが困難であったりするので、視覚障害者の方の目の代わりとなり、音声で情報を正確に伝えることが大切であると知りました。



ガイドの基本スタイルは視覚障害者の方に腕をにぎってもらい、半歩前を歩きます。相手のペースに合わせて歩くことが難しかったです。また、初めて点字の読みものに触りました。点字を読むのは難しく、音声ガイドの大切さにも気づきました。

これからは街で白杖をもっている方が困っていたら「何かお手伝いしましょうか」とお声をかけることから始めたいと思います。